協力会員になろう!!　小さなことでも力になれます

協力会員はこんな人！

「子育ての応援をしたい！子どもが好き！子育ての経験を生かして地域の役に立ちたい！」など子育てに理解と熱意がある人が多いです。

また協力会員もさまざまで、子育ての経験のある人もいれば、お孫さんをみている感覚で預かっている人もいます。

ご自分の空いた時間に、できる範囲で活動をお願いしています。仕事をしている人でも、土日や仕事が終わって帰ってきてからお迎えの活動をしている人もいます。

お子さんがいるお母さんで家庭のお子さんの面倒を見ながら、協力会員として活動している人もいます。

講座を受けるから安心！今後の勉強にも！

協力会員になりたい人を募り、３日間の講座を行います。ファミサポの詳しい概要を説明したり、お子さんを預かったときのアドバイスや、助産師や小児科医師の話や、消防士による話（救急時の心臓マッサージなど）といった内容です。3日間の講座全てを受講した人が登録できます。全て受講できなかった場合は、春と秋に年２回開催している講座で受講できなかった講座を受けることで登録できます。また安全なサポートのためのスキルアップ講座をしています。お気軽にお問い合わせください。多数のお申し込みをお待ちしています。

講座開催日程　　開催場所：市民保険センター４階

とき		内容
5月16日（火）	9:15~10:40	協力会員・保育ボランティアとしての心構え
	10:45~12:00	子どもの遊びと育ち
5月17日（水）	9:15~10:30	子どもの栄養と食事
	10:35~12:00	子育てを取りまく環境
5月18日（木）	9:15~11:00	緊急時対策と応急処置
	11:05~12:30	子どもの心と身体の発達
	14:00~15:30	子どもの健康と病気
	15:35~16:30	登録手続き説明など

※時間および内容が変更になる場合があります

一歩踏み出そう!!

協力会員の声　活動はとても楽しい！元気をもらえる

協力会員　写真右から橋田　瑳子さん
上田　幸世さん　松本　貞子さん

協力しようと思ったきっかけは

橋田「孫も大きくなり手が離れたので、また子どもの面倒を見たいという気持ちがありました」

上田「広報に載っていた養成講座の案内を見て、受けてみようと思いました。将来孫ができたときに、ファミサポでの勉強や経験が役に立つだろうと思い、こわごわながらも参加しました。（活動前に）いろいろ話し合いがあった上で任せてもらえました」

松本「私とお父さん（旦那さん）は子どもが好きで、何かできないかなと模索しているときに、ファミサポの話を聞きました。だんだんお父さんの方が乗り気になって、一緒に迎えに行ったりするようになりました。預かっているお子さんも今では〝おじいちゃんおじいちゃん〟と言って喜んでます」

預かるときに気を付けていることやうれしかったことは

橋田「やっぱり初めてのときは懐（なつ）くまでに時間がかかりますが、顔を見る期間が長くなれば、保育園に迎えに行ったときに笑ってくれるので、それがとてもうれしい。」

上田「預かる時間はとにかくケガのないように気を付けています。あとは何をしようかなということ。遊びの内容について、いろいろ考えるのも楽しいですね」

松本「何も気を遣うことはないけれど、良いことと悪いことはきちんと言うようにしています。元気の良い子で見ているだけで癒やされます」

まだ利用していない人に一言

橋田「子育てについては今まで経験していることなので、どんと安心して任せて欲しいです」

上田「一人で悩まずに、積極的に出て行って、いろんな人と出会ってコミュニケーションをとってください」

松本「子どもを預けるのは怖いかも知れないけど、一歩自分が踏み込むことが大事だと思います」

依頼会員になろう!!　安心して利用できます

依頼にそった活動を！

活動する協力会員はお子さんが安心できるように基本的に同じ人にお願いしています。活動前に必ず顔合わせをしてからの活動となります。できるだけ依頼会員の希望に沿った協力会員にお願いしています。

また、基本は１人の依頼会員につき１人の協力会員ですが、ほぼ毎日のように利用される活動回数の多い人や、兄弟が多い場合、お迎え先が違う場合などは、複数の協力会員で活動をお願いする場合もあります。

随時登録できます！

依頼会員の登録はセンターで受け付けています。センターでの説明を聞きご理解の上、登録手続きをします。30分ほどの簡単な説明ですので、気軽にご相談ください。

こんな時の助けにも！

▽親の体調不良時

元気なお子さんを協力会員宅で預かることもできます。

▽急な預かり

急な残業時や早朝・夜遅い時間帯などでも協力会員が可能であれば活動をお願いすることもできます。

▽出産時のサポート

妊婦健診の際の預かりや、出産後の上の子の保育所などの送り迎えなどもできます。

こんな活動はできません！

▽病児の預かりや宿泊を伴う活動はできません。

依頼会員の声　いざというときに助かっています

依頼会員　武津　薫さん

利用しようと思ったきっかけは

「妊娠中に転勤になり、守口市に住むことになりました。近くに親戚がいないので、病気になったときや何か急用ができたとき、夫が仕事を休めないときにファミサポを利用したいと思いました」

利用していて良かったなと思うことは

「最初に子どもを預けたときは泣いていたので、不安な気持ちで離れるんですけど、迎えに行くとニコニコしていて〝おじいちゃん！おばあちゃん！〟と言って帰りたくない気持ちがあるんだろうなと感じます。それを見て〝楽しく遊んでたんだな〟と分かると預けて良かったなと思います。

日中、相手している大人は私だけで、いろんな人と接した方が成長もあると思うので、そういう面ではすごく助かっています。私以外の誰かと接することが大事じゃないのかなと思います」

協力会員と依頼会員との交流は

「出身がたまたま同じで話が盛り上がったり、果物をもらったり交流はあります。〝預かっている間はこうやって過ごしてましたよ〟などそういう話を細かくしてくれます」

ファミサポの制度について

「初めはもちろん不安でしたが、きちんとどの人に預けるか面談があるので、すごく安心できて助かります。面談については、協力会員の方も、サポートセンターの方もすごく熱心に、紹介やいろんな話をしてくれています。きちんと制度の説明もしてくれるので、私も協力会員の方もお互いに信頼しています」

まだ利用していない人に一言

「初めに子育て支援センターの方から、子育て中のお守り代わりのつもりでと勧められて、実際利用してみて本当にその通りだなと思いました。日常、何があるか分からないしそんなときに備えて安心するためにも、会員になっておくことは大切なんじゃないかなと思います」